手話に触れよう

聴覚に障害のある児童が通う学校として、県内には、県立特別支援学校の大宮ろう学園と坂戸ろう学園の2校があります。

児童・生徒が授業を理解しやすいように、座席の配置やクラスの人数が編成され、先生やクラスメートとのコミュニケーションが円滑に行えるように工夫されています。

右のコードを携帯電話で読み取るか、下記 URL から動画を見られます。

https://youtu.be/HD3wllSc4NM

手話動画コード

◆障害福祉課　TEL内線 287

第６回　場所を表す手話

学校

両手のひらを顔に向けて、胸の前で２回程、上下に動かす。

会社

両手の人差し指と中指を立てて、顔の横あたりで前後に動かす。

※左のコードから場所を表す手話の動画が見られます。
※市ホームページ内の熊谷市チャンネルでもご覧いただけます。

ラグビーワールドカップ 2019™ 日本大会　チケット抽選販売開始

公式チケットサイト
tickets.rugbyworldcup.com

セット券（スタジアムパック）

熊谷パック（熊谷で開催される３試合全てが観戦できます）
一般抽選販売
申込期間　１月27日（土）～２月12日（月・休）
抽選結果発表　２月26日（月）
支払い期間　２月26日（月）～３月７日（水）

通常チケット（各試合のチケット）

①開催都市住民（埼玉県民）先行抽選販売
申込期間　３月19日（月）～４月12日（木）
抽選結果発表　４月26日（木）
支払い期間　４月26日（木）～５月５日（土・祝）
※熊谷市で行われる試合のみお申し込みいただけます。

申込みには公式チケットサイトでの“チケット ID”の登録が必要です。登録して、熊谷で開催される試合のチケットに申し込もう！

②大会公式サポーターズクラブ会員先行抽選販売
申込期間　５月19日（土）～６月26日（火）
抽選結果発表　７月10日（火）
支払い期間　７月10日（火）～７月19日（木）
※大会公式サポーターズクラブ会員が対象。
（rugbyworldcup.com/supporters から会員登録ができます。）

③第１次一般販売（抽選）
申込期間　９月19日（水）～11月12日（月）
抽選結果発表　11月26日（月）
支払い期間　11月26日（月）～12月５日（水）
※金額や試合日程は、市報 12 月号 32 ページ、または公式チケットサイトをご覧ください。

◆ラグビーワールドカップ 2019 推進室　TEL内線 345

元トップリーガー木川隼吾の ラグビーオモシロ話

● 第 10 回　左手で乾杯 ●

ラグビー選手は、ものすごい量の食事をするという印象を持つ方が多いと思います。しかし、実際は一般の方より少し多めに食べられる、という程度の選手が多いです。

朝昼晩の食事は一般の方と同じか、やや多めの量を食べ、その他に練習の前後に、おにぎりやバナナ、プロテイン等の補食や間食を取ります。総摂取カロリーは多くなりますが、一度に食べる量は、あまり多くありません。そのため一般の方と食事に行くと「思ったより食べないんですね。」とがっかりされることがよくありました。

飲食つながりの余談ですが、海外と日本の一部のラグビー界には、「酒席ではグラスを左手で持たなければならない。」というルールがあります。「握手する右手を濡らさない。」という紳士的理由によるものです。そのため、必然的に左手でグラスを持つ癖がついてしまいます。

もし、酒席で常に左手でグラスを持っている人がいたら、その人はラガーマンかもしれませんね。

◆ラグビーワールドカップ 2019 推進室　TEL内線 341

ラグビーワールドカップ 2019 推進室
木川（きかわ）　隼吾（じゅんご）

未来の熊谷を担う子どもたちの視点を市政に生かす
第12回夢・未来熊谷ジュニア議会が開催されました

11月14日、熊谷市議会本会議場で、第12回夢・未来熊谷ジュニア議会が開催されました。市内の16の中学校から代表として選ばれたジュニア議員が、市政について感じていること、疑問に思っていることを、堂々とした態度で質問を行い、市長をはじめ、副市長、教育長、担当部長が答弁しました。

◆広報広聴課 TEL 内線212

ラグビータウン熊谷を推進していく上でプレーヤーや、指導者の育成のためにどのような取組をしているのか教えてください。

熊谷市には、男女を問わず幅広い世代でラグビーをプレーできる環境があり、熊谷市長杯を始めとした各種大会や、市内中学校のラグビー部に対する練習用具等の支援などを行っています。

また、昨年度から市内全小学校でタグラグビー教室を開催しています。全国的にはラグビーボールに触れたことがない子どもたちも多い中、熊谷市では小学校の授業でラグビーを身近に感じてもらえるような取組を進めており、1人でも多くの子どもたちに、ラグビーに親しみをもってもらいたいと思っています。

一方、指導者の育成については、埼玉県ラグビー協会の主導で段階に応じた各種コースを設定しており、指導者の多くは、これらの研修で資格を取得し、指導に当たっています。

熊谷市の人口減少に歯止めをかけ、多くの人々が暮らしたい、移住したいと感じるような魅力ある町づくりの構想はありますか。

熊谷市では、若い世代が働く場所を確保・創出する「雇用促進」、暮らしやすい環境を整備する「転入・定住促進」、安心して子育てできる「出産・子育て支援」の3つを目標に、人口減少対策に取り組んでいます。

主な取組として、「雇用促進」では、企業を誘致して働く場所を増やすほか、お店の開業を後押しするなどの起業支援や、結婚・出産で仕事を辞めた女性の就労支援にも力を入れています。これまでに、「ハイアール」、「ヤオコー」などの企業を誘致したほか、空き店舗を活用した美容院や飲食店がオープンしました。次に、「定住・転入促進」では、子育て世帯が親世帯と3世代で同居や近居するための支援や、住宅取得等に対する固定資産税の免除、新幹線通勤補助などを行っています。そして、「出産・子育て支援」では、妊娠・子育て中の人のための相談窓口の設置、高校卒業までの医療費の無料化や学童クラブ増設など、子育て環境の充実を図っています。↖

ワークショップ

本議会の準備段階として、ジュニア議員同士の交流と市政への理解を深めてもらうため、夏休みにワークショップを2回開催し、1回目は自己・学校紹介、「もっと知りたい熊谷」をテーマに話合いをし、2回目ではミニジュニア議会と称し本番を想定した模擬演習を行いました。

各学校での活動の様子や、熊谷市の取組についてなど、活発に意見を出し合い、学校間の交流や仲間との情報交換も行うことができました。

ワークショップを行い、議会を開催する方法は、全国的にも珍しく、子ども・若者の意見聴取等を行う取組として有効な事例であると、内閣府の「子ども・若者育成支援推進点検・評価会議」から高い評価を受けています。

ジュニア議会本番までの道のり

2回のワークショップで事前学習（7月26日、8月22日）

話し合いのテーマ「もっと知りたい熊谷」

◀7月26日のワークショップの様子

▶8月22日のワークショップの様子

↓

各学校にて質問作成

↑

11月14日本番です！

↙このような熊谷市独自の取組で、魅力あるまちづくりを推進し、市内外へ情報発信することで、人口減少対策に取り組んでいます。

市内の店や会社で働く人を対象に、毎日15時から15分間を「熊谷リフレッシュタイム（仮称）」と名付け、休息等を行う時間として働く人の健康維持と仕事の効率アップを目指す取組ができませんか。

熊谷市内で働く方が健康で、効率よく働き続けられる環境づくりはとても大切なことです。

熊谷市では、国で進めている「働き方改革」のモデル都市として、働く方が有給休暇を利用して、地域の行事に参加したり、家族と過ごす時間を確保することで、健康維持や仕事の効率アップにつなげる運動に取り組んでいます。皆さんにも学校を通じて、有給休暇の取得を呼びかける啓発チラシを配布させていただきました。

ご提案された「熊谷リフレッシュタイム」については、市内のお店や会社によりそれぞれ事情が異なるため、一律、15時からの開始をお願いすることは難しいかもしれませんが、まずは、「チャレンジステージくまがや」という市内の事業者向けの情報を発信するホームページを使って、休息時間の確保は働く人の健康維持や仕事の効率アップにつながることや、効果的なリフレッシュの方法などを紹介したいと思います。

このほかにも貴重なご意見をいただきました。これからの市政運営の参考にさせていただきます。

ジュニア議会議員名簿（敬称略）

◎＝議長　○＝副議長

学校名	議員氏名	
荒川中学校	松本 京太郎	
	花岡 瑚流	
富士見中学校	金子 依蕗	
	鈴木 彩心	◎
大原中学校	秋庭 宏多	
	新藤 楓香	
熊谷東中学校	森 基	
	多田 陽菜	
玉井中学校	國分 裕希	
	植村 里菜	
大麻生中学校	小野 芳樹	○
	秋山 桜子	
中条中学校	中島 康成	
	春山 京花	
吉岡中学校	府川 里玖	
	浅見 楓香	
別府中学校	濱川 秀紀	
	三上 喜帆	
三尻中学校	高橋 優文	
	時田 栞	
奈良中学校	藤野 綺人	
	小田嶋 凛	
大幡中学校	秋庭 健佑	
	新井 花菜	
大里中学校	門叶 翔汰	
	坪井 咲稀	
妻沼東中学校	上杉 俊介	
	中原 彩花	
妻沼西中学校	堀越 叡人	
	山口 紗和	
江南中学校	金室 洋紀	
	大津 美月	

ジュニア議員の感想

- ●ジュニア議会を通して他校の生徒と交流でき、熊谷の魅力に気がつくことができました。
- ●なかなか議会を経験することがないので、不安な部分もありましたが、議会の仕組みや他の人の考え方などを学び、良い経験をすることができました。
- ●熊谷市には思っている以上にたくさんの良いところがあり、それを広めるためにたくさんの人が努力をしているのだなと思いました。
- ●熊谷市についてしっかり考えることで、自分の住んでいるまちをさらに理解しようという気持ちになりました。

白バイ、かっこいい！

11月18日、熊谷スポーツ文化公園のにぎわい広場で、第6回くまがや交通安全フェアが開催されました。いろいろな体験コーナーや白バイなどの展示により、交通安全を楽しく学べるイベントとなりました。

熊谷産サツマイモの商品が勢揃い

11月11日･12日､熊谷駅改札前で「熊旬」が開催されました。市内10店舗がサツマイモを使用した商品を販売しました。タルトやプリンのほか、ドレッシングなども販売され、秋の味覚を楽しめました。

ご当地うどんの頂上決戦開催！

11月18日・19日、熊谷スポーツ文化公園で第7回全国ご当地うどんサミット2017 in 熊谷が開催されました。グランプリは愛知県のガマゴリうどんが受賞し、熊谷うどんは堂々の第2位となりました。

別府沼公園清掃活動

12月3日、今年で10回目となる別府自治会連合会主催の清掃活動が実施され、地元自治会・長寿会・学校関係者や別府沼を考える会、ホタル愛好会など大勢の方たちが参加しました。

おいしい食べ物大集合！

11月18日・19日、熊谷スポーツ文化公園で第13回熊谷市産業祭が開催されました。熊谷市や山ノ内町産の農産物や地元のお店が並び、おいしい食べ物を求めて長蛇の列がいくつもできていました。

はしご車に乗ったよ！

11月12日、消防本部庁舎で第18回消防フェアが開催されました。初期消火の体験やはしご車の搭乗体験、消防音楽隊のミニコンサートなどが行われ、多くの人でにぎわいました。

熊谷市PR動画「つるたまと巡るブルーサーマル聖地巡礼」が完成しました！

市報10月号で紹介した漫画「ブルーサーマル」の主人公つるたま（都留たまき）が、市内の名所を紹介する動画が完成しました。

動画では、漫画に登場する妻沼グライダー滑空場やうどんなどを紹介しています。

右のコード、または市ホームページ内の熊谷市チャンネルから見られますので、皆さんぜひご覧ください。

◆広報広聴課 TEL 内線206

こんにちは！漫画「ブルーサーマル」主人公のつるたまです！
私と一緒に熊谷について詳しくなりましょう！

漫画に登場した市内の名所をご紹介！

【お詫びと訂正】市報12月号20ページに誤りがありましたので、お詫びいたします。
熊谷税務署非常勤職員時給（正）880円～920円（誤）870円～910円

縁起物を求めて

12月8日、高城神社境内で酉の市が行われました。訪れた人たちは、福をかき込むとされる熊手などの縁起物を買い求め、商売繁盛や家内安全などを祈っていました。

冬も安全運転で！

11月30日、コミュニティひろばで冬の交通事故防止運動・年末年始特別警戒出陣式が行われました。水泳の古賀淳也選手を交通・生活安全広報大使として迎え、市内パレード後、熊谷駅にて啓発活動を行いました。

池の水を抜いて出てきたものは？

テレビ東京の「1月2日SP緊急SOS！池の水ぜんぶ抜く大作戦6」（17:55～放送）の収録が江南地区日向沼で行われました。この沼を含む周辺地域では、ため池の水を利用した稲作を世界農業遺産へ登録するための活動が行われています。

全日本中学生英語弁論大会へ行ってきました

11月30日、10月に行われた埼玉県予選で3位となり、11月22日～24日の高円宮杯第69回全日本中学生英語弁論大会に出場した玉井中3年の古瀬桜子さんが、本大会出場結果を市長へ報告しました。

商店街活性化の取組が評価されました

全国商工会連合会主催の「21世紀商工会グランプリ」でグランプリを受賞した、くまがや市商工会が、11月30日に市長を訪問しました。空き店舗と新規出店者をマッチングする「ウエルカムSHOP事業」等が評価されての受賞です。

男女共同参画推進表彰

11月25日、江南総合文化会館ピピアでフォーラムくまがや2017が開催され、男女共同参画の推進に積極的に取り組んでいる「株式会社ガーデンパレス」と「公益財団法人西熊谷病院」の2事業所が表彰されました。

読んで当てよう!! 市報クイズ

今月の問題

次の［　　］に入る言葉を、お答えください。

［　　］熊谷の選手が市長と新春座談会を行いました。

アンケート

Q1 今月号市報の感想をお書きください。

Q2 取り上げてほしい内容があればお書きください。

応募方法

ハガキまたはEメールに、住所・氏名・年齢・電話番号・今月の問題の答えとアンケートの回答を必ず記入し、1月25日(木)までにご応募ください(一人につき一通)。

※回答がないものは無効となります。

《応募先》〒360-8601
宮町二丁目47番地1　熊谷市広報広聴課
✉：kohokocho@city.kumagaya.lg.jp

※当選者の発表は、プレゼント引換券の発送をもって代えさせていただきます。

今月のプレゼント

「市民食堂わいわい亭」ご提供のお好きな定食を10人にご提供！市役所本庁舎8階にオープンしました！

写真はイメージです。

［店舗情報］**市民食堂わいわい亭**
所在地：熊谷市宮町2-47-1
11：00～14：30
定休日：土・日曜日、祝日
電話：048-524-1111
(内線492、493)

11月号の正解

麺　　◆応募総数56通中、正解48通

※市報クイズでは、プレゼントを提供していただける商店・企業等を募集しています。詳しくは広報広聴課　TEL 内線206まで。

KUMAGAYA 市報くまがや
2018. 1 Vol.148

情熱世代

夢追い人

女子ラグビーを日本全体に広めたい。

女子ラグビー NZJP ラグビー協会プログラム派遣
飯野 菜々穂（ななほ） さん
（吉岡中出身）

始めたときから男子と交ざってプレー

小学1年生からラグビーを始めました。ラグビースクールも吉岡中でも練習は男の子と一緒にプレーしていました。現在は、國學院栃木高校のラグビー部で、プレーをしています。男子と同じ練習メニューをこなすことは大変厳しいですが、スピードと当たり負けしない力強さが身についていると思います。そのおかげで昨年4月の全国高等学校選抜女子セブンズラグビーフットボール大会で優勝できました。登録メンバーが8人しかいない中で、ぎりぎりの状態でしたが、優勝できて思い入れが大きい大会です。

ニュージーランドへラグビー留学

昨年、スポーツ庁が行っている高校生女子対象のラグビー留学プログラムに参加しました。応募者が約60人以上いる中で参加できたのは11人でした。このプログラムは2019年に日本で開催されるラグビーワールドカップに向けて行われています。21日間の留学で、ラグビーの技術を高めることはもちろん、英語も学ぶことができ、さらにラグビー強豪国のニュージーランド（以下NZ）の文化や伝統に触れることができて、刺激を得ることができました。NZでは毎日、ラジオやテレビでラグビーの情報が流れていて、日本でもラグビーの知名度や人気がこのように高まったらいいなと感じました。

NZ精鋭チームと互角の戦い

留学中はトレーニングもホストファミリーとの会話も英語です。日本ラグビートップリーグで監督経験のあるキース先生が指導してくださり、足腰を鍛えるためのビーチでの練習や牧場での走り込みなど、NZの自然を生かした指導もありました。

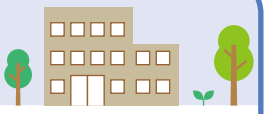
プログラムの終盤では、NZの精鋭高校生チームと試合をしました。相手は非常に体が大きかったのですが、日本のチームは体力や走りといった能力で優っていて、結果は1勝1敗1分けでした。

この留学を通じて2011年ラグビーワールドカップ開催国のNZから様々なものを学ぶことができました。今後は他の参加者たちとともに、日本全体に女子ラグビーの魅力を広め、普及活動に貢献したいと考えています。

プレー中の飯野さん

どうする？どうなる？ 市の施設

第10回
公共施設のソフト化



公共施設のソフト化とは、ハードとしての施設・建物を公共部門が保有せず、必要に応じて民間の施設・建物やサービスを利用してもらう方法です。例えば、市営住宅を市が建設するのではなく、民間の住宅を市が借り上げて市営住宅としたり、より直接的に民間の賃貸住宅入居者に市が家賃補助を行ったりする方法です。市が自前で建設する場合よりも、コストを抑えられる場合があります。また、図書館を整備する代わりに、市民にスマートフォンのアプリや専用端末を配付して書籍の閲覧サービスを提供する方法なども、電子書籍の一層の普及が見込まれる将来においては、実現できるかもしれません。もっとも、図書館には、静かな雰囲気の中で読書をして過ごす憩いの場としての役割などもあるように、図書館以外の施設も含め、施設機能の全てをソフト化できるわけではありません。

◆ 行政改革推進室　TEL内線 210、216

人口と世帯
●平成29年12月1日現在（対前月比）
■人口　198,824人（-152）　男　99,279人（-115）　女　99,545人（−37）　■世帯　85,717（-49）

「市報くまがや」1月号は、73,600部作成し、広告料収入を差し引いた印刷・製本にかかる市の負担は、1部当たり16円です。
「市報くまがや」は、再生紙を使用しています。

●発行日　平成30年1月1日　●発行　熊谷市
●編集　広報広聴課　〒360-8601　熊谷市宮町二丁目47番地1
TEL 048-524-1111（内線206）FAX 048-520-2870
「市報くまがや」は、毎月1日（原則）に発行し、自治会を通してお届けします。また、市役所・行政センター・出張所・公民館・駅連絡所などでもお配りしています。インターネットでも「市報くまがや」をご覧になれます。（URL）http://www.city.kumagaya.lg.jp/